

平成29年度 第5回行財政改革推進委員会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成29年8月30日（水） 18:25～19:50
- 2 場 所 旭川市総合庁舎2階 秘書課第2応接室
- 3 出席者 浅沼委員，梅津委員，川邊委員，篠原委員，増田委員
（所管課）総合政策部 黒蕨部長
総合政策部財政課 木村課長，稲田主幹，佐々木主査，杉山主査
（事務局）総務部行政改革課 田澤部長，小島課長，松田主幹，松浦課長補佐，
青葉主査

4 公開・非公開の別 公開

5 会議資料

- (1) 次第
- (2) 「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針（改訂版）（案）
- (3) 平成29年度 行政評価の実施について（答申案）

6 議事要旨

所管課から配付資料に基づき内容を説明した後に，審議，内容確認等を行った。
概要は次のとおり。

●「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針（改訂版）（案）について（諮問）
（委員）

パブリックコメントは一般的に反対意見が多いのは当然である。反対したいから意見が出てくるのであって，賛成している人もいるはず。そうした意見ばかり聞いていたら，正しい市民の意見ではないような気がする。

地方交付税が減らされてきている中で，市にお金がないことと，減価償却費がないと施設の更新ができない，つまり老朽化した施設は使えなくなることも含めて市民に説明すべきと思う。

（所管課）

5月から6月にかけて市内15か所で意見交換会を行い，取組指針の見直し案を作成した。意見交換会では，施設，人口，財政などの状況の説明に努めてきたが，今後も市の実情の説明には努めていかなければならないと考えている。

（委員）

市民の意見を聞くことも大事だが，実情を考えた上でそれをどこまで取り入れるか，減価償却費を導入することも必要ではないかという意見と受け止める。

（委員）

総論は（最初に発言した）委員と同じ考えである。

素案の中に示している減価償却費の考え方は，妥当な考えだと思う。

料金がどのように変わるのか，具体的な数字がない中では，一般の人は値上げだけに捉われてしまい，理解されないと思う。パブリックコメントの手法の話になるが，一工夫必要ではなかったか。

無料施設の有料化の項目で、「政策的な判断」を加えるとあるが、ファジーな言葉であるので、若干疑問に感じる。

上限の1.5倍について、算定が1.5倍を超える場合の対応を教えてください。

(所管課)

上限の1.5倍は、他都市の考えや利用者の負担を考慮し設定した。算定し、1.5倍を超えるものがあつたとしても、上限の1.5倍としたい。ただし、実際の料金改定案は、数字による算定だけではなく、他都市との比較検討、これまでの経過等を踏まえたものとなる。

(委員)

上限率について、「原則」を付してはどうか。

(委員)

「政策的な判断」については、年度によっても対象が変わる可能性があるので、検討をお願いしたい。

(委員)

旭山動物園の入園料について、「中学生以下無料」を見直せば、収益も改善し、更なる魅力ある施設の整備につながると思う。市外からの中学生以下の来園者を見直すだけでも違ってくるのではないか。

(委員)

札幌市で行ったパブリックコメントの中で、子どもからの意見として「体育館やプール、動物園などは、100円でもいいから料金を取ってはどうか」というものがあつた。

(委員)

行政関係の文書は、一般の人には分かりにくい。そのため、パブリックコメントでは、理解できる範囲だけで回答が返ってくる傾向があるので、反対意見が多くなる。それに左右されるのはどうかと思う。公平な幅の広い意見は取りにくいと思う。

パブリックコメントの資料づくりや財政状況の情報発信の仕方を考えていくべきではないか。

減価償却費は含めないと、施設の更新ができなくなるので、含めてもいいと思う。

(委員)

パブコメや市民説明会に参加した方の年齢層や男女の割合はどうか。

(所管課)

正確には把握していないが、市民説明会では、年配の方が多く、女性の割合は少なかった。パブコメには年齢情報はいただいている。

(委員)

市民説明会の案内では、1時間という設定であつたが、意見の時間はあまりなかったのでは。

(所管課)

時間で打ち切ることなく質問を受けており、1時間を超えた会場もあつた。

(委員)

他都市は参考にはなるが、旭川市の現状を踏まえて、それに適した設定が必要ではないかと思う。

(委員)

減価償却費については、引き続き検討をお願いしたい。

市民に対して、適正化に向けた具体的な状況が分かるような示し方を検討してもらいたい。

(委員)

子どもから意見を聞く手法も検討してはどうか。

(委員)

将来自分に影響があるということもある。今後に向け、全員が市民であるということを念頭に進めていただきたい。

●平成29年度 行政評価の実施について（答申案）

(委員)

老人福祉施設等建設補助金について、予定どおり推進ではなく、見直しとしたのはなぜか。

(事務局)

議事録を精査した結果、委員の発言をくみ取ると、事業自体は引き続き実施することが適当ではあるものの、実施の手法については見直しの必要性があると整理する方が、より適当であると判断した。

(委員)

老人クラブ・高齢者いこいの家運営費については、元気な高齢者のみならず様々な方がいる中での公平性をどうするのか、というのが議論の主旨であったと思う。原案にある「元気な高齢者に対する補助の必要性は低い」との表現は誤解を生むのではないか。

(事務局)

修正する。

(委員)

子どものための教育・保育給付費について、「収納率の向上のための取組」の箇所は、「収納率の向上のための具体的な取組」と表現した方が良いのでは。

(事務局)

修正する。